

第2 平成29年度予算の補正の概要について

1 補正予算の概要

平成29年度の当初予算については、前回の「財政状況」に掲載しておりますが、その後、6月定例府議会では、当初予算編成後の状況変化に伴い、緊急に対応することが必要なもの等について補正予算を編成しました。

具体的には、府外大学生等の人材還流を促進するため、府内企業や農業法人等での就業体験、地域の魅力の体感に要する経費や、北近畿タンゴ鉄道の安全運行を確保するための落石防護柵の設置、山城総合運動公園におけるアイススケート場の用地造成に要する経費など、一般会計で2億2,100万円の予算補正を行いました。

9月定例府議会では、当初予算で掲げた「共生社会の実現」に向けて一層の推進を図るため、医療的ケアを必要とする子どもの保育所への受入体制整備の支援、介護離職者、未就業保育士、女性を対象とした実地研修などの就業支援や、文化庁移転場所決定を契機に文化施策を進めるため、府立大学の和食文化学科（仮称）の設置に向けた「『和食の文化祭典』事業」を実施するなど、一般会計で5億2,800万円の予算補正を行うとともに、9月発生 of 台風18号災害及び10月発生 of 台風21号災害への対応や、京都府議会議員宮津市及び与謝郡選挙区補欠選挙に要する経費など、一般会計で95億5,300万円の予算補正を行いました。

平成29年度 9月補正予算案



京 都 府



補正予算の基本方針

- ◆ 今回の9月補正予算は、当初予算で掲げた「共生社会の実現」に向けて一層の推進を図るとともに、文化庁移転場所決定など当初予算編成後に生じた状況変化を踏まえた施策や、安心・安全の確保を図るための施策について、予算を編成

【9月補正予算の体系】

- (1) 共生社会実現支援事業
- (2) 文化新創造事業
- (3) 安心・安全緊急強化事業

2

共生社会実現支援事業

3



共生社会実現支援事業

0.7億円

こども・障害者支援

医療的ケア児保育支援事業

3百万円

- 医療的ケア児を受け入れる保育所の受入体制整備を支援
 - ▶ たん吸引等の医療的ケアを必要とするこどもについて保育所利用を希望しても、保育所側の受入体制が整っていない現状

【医療的ケアを受けている在宅養児数(18歳未満)】

平成27年度末「173人」⇒平成28年度末「226人」

補助対象	看護師・加配保育士の配置、たん吸引等研修受講支援
補助率	国1/2、府1/4、市町村1/4

障害者スポーツ特別支援事業

7百万円

- 競技力向上と裾野拡大を図るため、ハード・ソフト両面から実施
 - ▶ 車いす練習コースの設計(丹波自然運動公園)、車いす用トレーニング機器を整備(トレセン)
 - ▶ 障害者スポーツフォーラム(仮称)の開催

◎に練習コース完成

4



共生社会実現支援事業

雇用支援

介護離職者等雇用支援事業 7 百万円

- 介護離職者を対象にした再就職相談窓口を設置(京都JP)し、福祉職場への実地研修の実施や初任者研修受講支援を通じ、再就業・雇用の安定に繋げる

女性就職支援事業 5 百万円

- 働きたい女性を対象にものづくり産業、福祉職場における実地研修や座学等を実施し、就業につなげる

保育士就職支援事業 4 百万円

- 未就業保育士を対象に実地研修を実施し、再就業につなげる

若者就職支援事業 6 百万円

- 府内大学生のインターンシップを実施し、就業につなげる
 - ▶ 府内在住の大学生等を対象にインターンシップの内容を拡充する
 - 受入日数増(1~5日→6~14日)、宿泊費等支援、給与支払あり

5



共生社会実現支援事業

地域支援

コミュニティ支援マルチ交通事業 5 百万円

- 過疎地域等におけるデマンド型の貨客輸送、生活支援サービスなどを組み合わせたマルチ交通事業の支援 (2箇所)

マルチ交通事業

- ▶ タクシーやバスで旅客と貨物を一体的に輸送するほか、高齢者への宅配や見守り等を付加する事業

地域医療・コミュニティ施設整備支援事業 32 百万円

- 国保診療所における外壁補強、待合室拡張等改修に対する支援
(京丹後市国民健康保険直営大宮診療所)
- 隣保館におけるエレベーター設置に対する支援
(南丹市園部北部コミュニティセンター)

6

文化新創造事業

7



文化新創造事業

0.6億円

食文化創造事業

「和食の文化祭典」事業

5百万円

31年度設置(構想中)

- 府立大学和食文化学科(仮称)設置に向け、PRも兼ねて、「和食の文化祭典」を実施
 - ▶ 和食文化学会(仮称)設立記念フォーラム … 基調講演、和食文化の発信
 - ▶ 高校生和食コンテスト … 調理だけでなく、器選びや盛り付け等食文化に着目
 - ※「京都・和食の祭典」(◎当初) … 和食ブース、トークイベント、和食文化体験

宇治茶ブランド新展開事業

6百万円

- お茶の京都博にあわせて、宇治茶を世界に発信するとともに消費拡大を図るため、宇治茶ブランドの新展開を図る取組を実施
 - ▶ 宇治茶をドリンクメニューとして提供する店舗を「おいしい宇治茶が飲める店」として認定し、広くPR
 - ▶ 女性・若者の感性を活かした宇治茶を使ったカクテルメニューや一押し商品の公募・PR
 - ▶ 宇治茶成分の見える化、新たな機能性成分の研究を通じてマーケットを開拓

8



文化新創造事業

地域文化創造事業

芸術村づくり推進事業

15百万円

- 地域や商店街等と連携した芸術家の創作・交流場所等の提供
 - ▶ アトリエ付きシェアハウス … 空き家等を活用した創作・交流環境の整備を支援
 - ▶ どこでもギャラリー … 商店街等に芸術家や障害者アート作品を展示するギャラリー開設
 - ▶ アート&クラフトラウンジ … 伝統工芸、障害者アート等の作家、職人作品の展示商談会の実施

明治150年事業

明治150年京都事業

31百万円

- 明治150年関連イベントの実施
 - ▶ 明治京都復興への挑戦
 - 明治150年・京都府の文化・産業再興リレー講座(京都市学・歴史館)
 - ▶ 明治の文化の維持・保存
 - 明治150年・西陣呼称500年記念京の織物近代化展(西陣織会館) **府市協働**
 - 明治を彩る建造物保存修理も実施

文化庁移転関連事業

文化庁移転施設設計画策定費

5百万円

7.25文化庁移転協議会で正式決定

- 移転先に決定された府警察本部本館の改修等に向けた基本計画の策定

9

安心・安全緊急強化事業

10



安心・安全緊急強化事業

2.7億円

ストーカー相談支援センター設置費 3百万円

全国初

- ストーカー事案に特化した相談センターの設置
 - 専任の女性警察官を配置し、相談しやすい環境を整備
 - 開設時間：平日午前9時～午後7時
(電話・メール相談、面接相談(予約制))

認知件数の大幅増
 ④上 232件 ⇒ ④上 320件

宿泊施設安心・安全確保事業 6百万円

- 安心・安全な宿泊施設を確保するため、旅館業許可取得に必要な設備整備等を支援

補助対象者	新たに旅館業(簡易宿所)許可を取得しようとする者
補助対象経費	消防設備の整備・改修等
補助率	1/2 (上限100千円)

水害避難行動マニュアル作成支援事業 1百万円

④～⑥3年連続水害
29.7九州北部豪雨

- 自主防災組織単位による水害発生に備えた避難行動マニュアルの指針を作成

保安林危険木解消緊急事業 10百万円

- 急傾斜地等における危険木対策の強化(間伐材による山崩れ防止工等)

11



安心・安全緊急強化事業

天然アユ遡上促進事業 1百万円

- 今後の放流用アユ稚魚の不漁に備え魚道を設置し、天然アユが遡上できる環境を整備

府庁第3号館整備計画策定費 5百万円

- 耐震調査結果を踏まえ、整備手法やスケジュール等の計画を策定

地域医療介護総合確保基金積立金(医療分) 251百万円

- 病床機能の強化や在宅医療提供体制の充実等を図るため、基金の積み増しを実施

単独公共事業執行平準化対策費(債務負担行為) 債務負担行為 2,500百万円

- 府民の安心安全を確保するため、防災対策工事等の早期着手を図る

12

その他

13



その他

専用球技場環境保全対策事業

21 百万円

- 工事着工に備え、アユモドキ保全対策(布団カゴ設置、ラバーダム修繕設計等)を実施

京都舞鶴港利用促進事業

6 百万円

- 京都舞鶴港を核とした広域的な人流(観光)・物流拡大策を実施
 - ▶ クルーズ船乗客増加策の実施(海のDMOによる周遊観光商品の造成支援等)
 - ▶ 京都舞鶴港広域活用推進会議の設置

歴史的建造物等保存伝承事業費

86 百万円

- 所有者からの受託による文化財建造物の保存修理
 - ▶ 西本願寺(阿弥陀堂、飛雲閣)

働き方改革推進事業

5 百万円

- 審査・交付業務をモデルとして、業務の効率化やペーパーレス化等に取り組み、京都府庁における働き方改革を推進

14



予算案の規模

平成29年度 現計予算

915,591 百万円

平成29年度 9月補正予算

528 百万円

合計

916,119 百万円

対前年9月補正後比較
(93.0 %)

15

平成29年度9月第2次補正予算案



京 都 府

1



予算編成の基本方針

今回の台風18号災害で被災された方々の一日も早い復旧・復興に向けて、対応すべき課題について補正予算を編成

■ 補正予算の体系

- ① 被災者の生活再建支援
- ② 中小企業・農業者の復興支援
- ③ 河川・道路等の災害復旧
- ④ 災害防止対策

■ 補正予算の規模

一般会計 4, 400百万円 (4,399,500千円)

(参考：H26年度 8月補正 8月豪雨の災害復旧 13,652百万円)

H25年度 9月補正 台風18号の災害復旧 20,656百万円)

2



被災者の生活再建支援

地域再建被災者住宅助成費

45 百万円

府単独制度を拡充

▶ 被災者の日常生活の早期回復を図るため、対象災害の適用基準を拡大

【現行適用要件】

府内において被災者生活再建支援法が適用された大規模自然災害 →今回は法適用なし

【追加する適用要件】 ①+②に該当する災害についても適用

①いずれかの都道府県で被災者生活再建支援法が適用された自然災害 →大分で適用

②府内において被災者生活再建支援法の適用基準の概ね1/3の被害

● 被災住宅の再建等に係る経費を支援

(万円)

	全 壊	大規模半壊	半 壊	床上浸水等
補助限度額	300	250	150	50

→ 今回の被災状況は、床上浸水132棟 一部損壊5棟 (9/27現在)

地域再建被災者住宅融資対策費

1 百万円

● 被災住宅の建替・補修に係る資金の借入に対する利子補給補助の実施

限度額・期間	建替等 1,650万円 25年	補 修 730万円 20年
貸付利率	無利子(5年間)	

3



中小企業・農業者の復興支援

中小企業等復興支援事業

15 百万円

- ボイラー等大規模な設備の更新等に最大100万円を支援
補助額： 上限100万円 補助率： 15%
- 小規模な機器の修繕等に対して最大10万円を支援
補助額： 上限 10万円 補助率： 1/2
- 災害対策緊急資金融資により資金調達を支援（制度融資最優遇金利）（既存制度）
限度額： 有担保2億円 無担保 8,000万円 融資期間：10年以内 貸付利率：0.9%

農業者等復興支援事業

27 百万円

- 農業用機械の更新等に最大100万円を支援
補助額： 上限100万円 補助率： 3/10
- 農機具の修繕等に対して最大10万円を支援
補助額： 上限 10万円 補助率： 1/2
- パイプハウスの復旧に対して支援
補助額： 上限なし 補助率： 1/2
- 経営の再建に要する資金の借入に対する利子補給補助の実施
限度額： 個人1,800万円 融資期間：15年以内 貸付利率：無利子（5年間）

4



河川・道路等の災害復旧

土木施設の災害復旧

3,610 百万円

- 河川護岸工等の実施 筒川<伊根町>、大壘川<宮崎市> 等
- 道路法面防護工の実施 京都縦貫自動車道<宮崎市>、久留伊根線<京丹後市> 等
- 海岸漂着流木等の除去 神崎海岸<舞鶴市>、浜詰海岸<京丹後市> 等

北近畿タンゴ鉄道施設の災害復旧

60 百万円

- 法面防護工等の実施 宮豊線9箇所、宮舞線1箇所

農林施設の災害復旧

350 百万円

- 土砂流入で損壊した農業用水路等の復旧 伊根町本庄、宮崎市栗田 等
- 崩落等で通行不能となった林道の復旧 京丹後市太鼓山線 等

府民利用施設等の災害復旧

52 百万円

- 浸水した府立高校におけるグラウンド復旧等の実施

5



災害防止対策

小河川災害対応強化事業

50 百万円

- 浸水被害の未然防止に向けた堤防嵩上工、河道掘削工の実施
吉野川（京丹後市）、木津川（京丹後市）

災害に強い森づくり事業

173 百万円

- 堆積土砂の撤去及び治山ダムの設置による再発防止策の実施
与謝野町石川堂谷、舞鶴市大山 等

防災・排水対策準備費

3 百万円

- 被災現場の検証と排水路整備工事の準備に着手 浜詰網野線（京丹後市）

災害防止対策検討費

3 百万円

- 被災現場等における再発防止に向けた工法等を調査・検討
吉野川（京丹後市）、木津川（京丹後市）、筒川（伊根町）

6

平成29年度9月第4次補正予算案

京都府

1



予算編成の基本方針

今回の台風21号災害で被災された方々の一日も早い復旧・復興に向けて、必要な対策について補正予算を編成

■ 補正予算の体系

- ① 被災者の生活再建支援
- ② 中小企業・農業者の復興支援
- ③ 道路・河川等の災害復旧等

■ 補正予算の規模

一般会計 3, 8 2 2 百万円

(参考：H29年度 9月補正 台風18号の災害復旧 4,400百万円

H26年度 8月補正 8月豪雨の災害復旧 13,652百万円)

2



被災者の生活再建支援

地域再建被災者住宅助成費 126 百万円

● 被災住宅の再建等に係る経費を支援

(万円)

	全壊	大規模半壊	半壊	床上浸水等
補助限度額	300	250	150	50

→ 今回の被災状況は、半壊 2棟

床上浸水 289棟

一部損壊 112棟 (10/26現在)

今回の災害についても単独制度による支援を実施

地域再建被災者住宅融資対策費 1 百万円

● 被災住宅の建替・補修に係る資金の借入に対する利子補給補助の実施

限度額・期間	建替等 1,650万円 25年	補修 730万円 20年
貸付利率	無利子(5年間)	

3



中小企業・農業者の復興支援

中小企業等復興支援事業 15 百万円

- 大規模な設備の更新等に最大100万円を支援
補助額： 上限100万円 補助率： 15%
- 小規模な機器の修繕等に最大10万円を支援
補助額： 上限 10万円 補助率： 1/2
- 災害対策緊急資金融資により資金調達を支援（制度融資最優遇金利）（既存制度）
限度額： 有担保2億円 無担保8,000万円 融資期間：10年以内 貸付利率：0.9%

商店街にぎわい回復事業 5 百万円

- 被災商店街等による集客イベントや販売促進を支援
補助率： 2/3

4



中小企業・農業者の復興支援

農業者等復興支援事業 79 百万円

- 農業用機械の更新等に最大100万円を支援
補助額： 上限100万円 補助率： 3/10
- 農機具の修繕等に最大10万円を支援
補助額： 上限 10万円 補助率： 1/2
- バイブハウス、茶園被覆棚の復旧を支援
補助額： 上限なし 補助率： 1/2
- 経営の再建に要する資金の借入に対する利子補給補助の実施
限度額： 個人1,800万円 融資期間：15年以内 貸付利率：無利子（5年間）

5



道路・河川等の災害復旧等

土木施設の災害復旧 2,810 百万円

- 崩壊した路肩の復旧等の実施 京都広河原美山線 等
- 河川護岸工等の実施
- 上津屋橋（流れ橋）の復旧

北近畿タンゴ鉄道施設の災害復旧 10 百万円

- 法面応急復旧工等の実施 宮舞線1箇所

農林水産施設の災害復旧 560 百万円

- 豪雨により崩壊した茶園の復旧 南山城村田山 等
- 崩落等で通行不能となった林道の復旧 宮津市成相線 等
- 漁港に堆積した土砂・漂着した流木等の撤去 舞鶴漁港

文化財等の災害復旧 20 百万円

- 文化財施設の屋根修繕工事等の実施 北野天満宮、知恩院、仁和寺 等

6



道路・河川等の災害復旧等

府民利用施設等の災害復旧 82 百万円

- 府立植物園（倒木処理等）
- 府民の森ひよし（屋根漏水箇所復旧）
- 中丹支援学校（グラウンド復旧） 等

災害防止対策 100 百万円

- 堆積土砂の撤去及び治山ダムの設置等 与謝野町岩屋 等

2 府債及び一時借入金

平成29年度における府債借入限度額として、当初予算で、一般会計1,042億8,100万円、特別会計1,381億8,428万円、合計2,424億6,528万円を計上しましたが、その後、6月定例府議会において、一般会計1億1,400万円、9月定例府議会において、一般会計22億4,800万円を追加計上しました。この結果、現計予算額は、一般会計1,066億4,300万円、特別会計1,381億8,428万円、合計2,448億2,728万円となりました。

なお、平成28年度末の府債の残高は、一般会計及び特別会計を合わせて2兆2,263億7,202万円でありました。この結果、平成29年度末の府債の現在高見込額は、一般会計2兆2,010億8,840万円、特別会計845億3,554万円、合わせて2兆2,856億2,394万円となっています。

また、一時借入金は、1,200億円を最高限度として借り入れができることとなっています。

■ 平成10年度には、ピーク時500億円の一時借入れを実行しましたが、15年度以降借入実績はありません。

一時借入金の状況

